

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38802
事業名	多面的機能を発揮する森づくり推進費					
評価担当課	所 属	建)みどりの推 みどりの管理課			電話番号	011-211-2522
施策名	森林、農地、公園や河川などの保全・創出・整備により、豊かなみ					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	平成31年に森林経営管理法が施行され、森林所有者は森林を適切に管理する責務を持つことが明確化された。更に、伐採又は保育が実施されていない森林における災害防止や機能発揮のための森林整備の必要性についても明確化された。本市の市有林と私有林の森林面積のうち約25%が人工林であるが、適切な間伐等が実施されている人工林は2割に満たない。森林環境譲与税を活用しながら、適切な森林整備を行うとともに、その担い手対策や木材利用や森林に関する普及啓発も併せて行う必要がある。
	事業内容(何を実施し)	緑豊かな都市環境の実現のほか、土砂災害防止や二酸化炭素吸収など、森林の多面的機能の発揮を目指すため、市内の森林において、間伐が遅れた人工林の間伐を実施した。私有林についても経営管理制度による取り組みや補助事業の運用により間伐等を促進した。 ・市有林の森林整備(主伐10ヘクタール) ・札幌市森林整備事業補助金の交付(4件) ・経営管理権集積計画の策定(1件)、経過観察林の指定(78筆) ・南沢第二都市環境林一部買戻し(約2ヘクタール)ほか
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	森林の多面的機能の維持・発揮を図り、自然災害に強く、カーボンニュートラルを維持する都市環境の創出を目指す。
	他都市の状況	他都市においても、市有林の森林整備及び私有林の森林整備補助事業を実施している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	63,844 千円	うち特定財源	34,848 千円	正規職員業務量	3.2 人工
令和5年度予算額	169,000 千円	うち特定財源	121,094 千円	正規職員業務量	6.2 人工
令和5年度決算額	142,846 千円	うち特定財源	77,867 千円	正規職員業務量	6.2 人工
令和6年度予算額	114,000 千円	うち特定財源	51,000 千円	正規職員業務量	5.2 人工

指標	アウトプット活動指標1	市有林の森林整備(2016年～CO2吸収の増加となる整備)			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		175ha	203ha	211ha	231ha	259ha	
	↓						
	アウトカム成果指標1	私有林・市有林におけるCO2吸収の増加			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		0t-CO2	306t-CO2	247t-CO2	611t-CO2	917t-CO2	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	私有林の整備の遅れによりCO2吸収量が目標値を下回ったが、今後、経営管理制度の取組を加速化し、私有林の制度を促進することで、目標達成に向けて取組む。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	経営管理制度を推進するため、私有林整備費を拡充したほか、市民・企業との森づくりの推進や道産木材利用の普及啓発に取り組むこととした。
来年度以降の方向性	引き続き市有林の森林整備を進めるほか、私有林の整備について経営管理制度の取組を加速化するとともに、道産木材利用の促進・普及啓発を進める。